

感染状況・医療提供体制の分析(12月28日時点)

【岡山県専門家有志】

(東京都統括コメント参照)

詳細



区分	モニタリング項目 *①～③は過去1週間合計	前回の数値 (12月14日時点)	現在の数値 (12月21日時点)	前回との比較	分析コメント	
感染状況	①新規陽性者数 (人口10万人当たり)	総数	18878人 (1005.8人)	22012人 (1172.8人)	→	感染状況コメント レベル5. 感染が広範囲に拡大しており最大限の警戒が必要
		60歳以上 (総数に占める割合)	3282人 (17%)	4079人 (19%)	→	
	②保健所別 新規陽性者数	岡山市保健所	6896人	8056人	→	新規陽性者は <u>人口10万人当たり1173人</u> と増加。60歳以上陽性者割合も増加し、医療機関や高齢者施設でのクラスターも多発。「岡山県医療ひっ迫警報」発令中。これまでで最も高い感染レベルに近づきつつある。年末年始にかけ、接触の機会も増え、今後も陽性者増加が見込まれる。感染対策継続、オミクロン株対応ワクチン接種や、高齢者等重症化リスクの高い方や医療を守る行動を。 「岡山県医療ひっ迫警報」→
		倉敷市保健所	4345人	4908人	→	
		備前保健所	1459人	1825人	→	
		備中保健所	2264人	2622人	→	
		備北保健所	661人	718人	→	
		真庭保健所	441人	541人	→	
美作保健所		2062人	2228人	→		
その他	750人	1114人	→			
医療提供体制	③入院患者数 (確保病床における入院割合)	391人 (65%)	423人 (71%)	→	医療提供体制コメント レベル5. 体制が極度に逼迫していると思われる	
	④宿泊療養者数	173人	205人 (29日15時時点)	→	高齢者の感染者増加により、確保病床における入院割合は70%近く。医療機関でのクラスター、また医療従事者の感染や濃厚接触による自宅待機も増加し、医療機関の受け入れキャパは大きく低下。 結果的に、救急搬送困難、手術制限など通常医療提供が困難になっている。	
	⑤自宅療養者数	17805人	未発表			
	⑥重症者数	11人	14人	→		